【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和4年12月9日(2022.12.9)

【公開番号】特開2021-166727(P2021-166727A)
【公開日】令和3年10月21日(2021.10.21)
【年通号数】公開・登録公報2021-051
【出願番号】特願2021-102171(P2021-102171)
【国際特許分類】
Ａ４５Ｃ 11/34(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ４５Ｃ 11/34 １０２Ｃ
Ａ４５Ｃ 11/34 １０２Ａ

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月1日(2022.12.1)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ペンケースであって、
長方形の底面部と、前記底面部の一方の長辺に接続する正面部と、前記底面部の他方の長辺に接続する背面部と、前記底面部の短辺に接続し、前記背面部の側に傾斜する傾斜辺を有する側面部とを備える箱状の本体と、
前記底面部と同等の長方形で、前記背面部の上端辺に直角に接続して固定されると共に前記背面部の下端辺を支点にして開閉する蓋部と、
前記蓋部の短辺と前記背面部の短辺とを接続する三角形状の接続部と、
前記三角形状の接続部の最も長い辺と前記側面部の傾斜辺とを接続するマチ部とを有することを特徴とするペンケース。
【請求項２】
蓋部を閉じた状態にすると、三角形状の接続部が側面部の一部を覆うことを特徴とする請求項１記載のペンケース。
【請求項３】
本体の内側に正面部に並行に仕切部が設けられ、
当該仕切部は、着脱可能に面ファスナーで取り付けられることを特徴とする請求項１又は２記載のペンケース。
【請求項４】
蓋部は、正面部を覆う覆い部を有し、前記正面部に設けられたマグネットと前記覆い部に設けられたマグネットが接着して固定されることを特徴とする請求項１乃至３のいずれか記載のペンケース。
【請求項５】
蓋部は、内側面にポケットを備えたことを特徴とする請求項１乃至４いずれか記載のペンケース。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更

【補正の内容】
【０００８】
上記従来例の問題点を解決するための本発明は、ペンケースであって、長方形の底面部と、底面部の一方の長辺に接続する正面部と、底面部の他方の長辺に接続する背面部と、底面部の短辺に接続し、背面部の側に傾斜する傾斜辺を有する側面部とを備える箱状の本体と、底面部と同等の長方形で、背面部の上端辺に直角に接続して固定されると共に背面部の下端辺を支点にして開閉する蓋部と、蓋部の短辺と背面部の短辺とを接続する三角形状の接続部と、三角形状の接続部の最も長い辺と側面部の傾斜辺とを接続するマチ部とを有することを特徴とする。
また、本発明は、上記ペンケースにおいて、蓋部を閉じた状態にすると、三角形状の接続部が側面部の一部を覆うことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
本発明によれば、長方形の底面部と、底面部の一方の長辺に接続する正面部と、底面部の他方の長辺に接続する背面部と、底面部の短辺に接続し、背面部の側に傾斜する傾斜辺を有する側面部とを備える箱状の本体と、底面部と同等の長方形で、背面部の上端辺に直角に接続して固定されると共に背面部の下端辺を支点にして開閉する蓋部と、蓋部の短辺と背面部の短辺とを接続する三角形状の接続部と、三角形状の接続部の最も長い辺と側面部の傾斜辺とを接続するマチ部とを有するペンケースとしているので、蓋部を開いたとき、背面部が底面となって蓋部を直立させ、蓋部を９０°開けた状態に維持でき、使い勝手を向上させることができる効果がある。